

暴逆に常に暴力を以て労働階級の團結を蹂躪し、健實なる労働組合の破壊を謀つてゐる。然し労働階級最後の死線に立ち、國家産業の發展と平和に協力する誠を捧げる九州聯合會が頭迷無理解なる資本家は國家産業を毒する公敵として、これが膺懲、討征の斷乎たる聖戰を宣して決戦する威力の前に悉く屈服し要求の殆んど全項を獲得してゐるのは九州聯合會の實力を事實を以て證してゐるところである。

九州聯合會は労働組合不振の甚説を聞き流して銳意、内部組織の充實に専念し、一朝有事に際して猛然戦ひ得る組織と用意と準備を完成してゐる。軍需インフレの行詰りと共に必然に襲ひ來る不況の大嵐と今日、三十萬を突破する臨時工の失業問題を中心に將に迫らんとする國家産業の大動亂の危機に臨み労働階級の生活權擁護の一大決戦に快勝する確信を持ち得たことを特に九州聯合會本年度の争議部報告の記録に留めておく。

六、政治部

素直に言ふなれば九州聯合會本年度の政治行動は表面に現れたところだけでは不活潑であつた。只だ僅かに會長伊藤卯四郎氏が再び衆望を負つて縣會議員總改選に八幡市より立候補し、連続二回に亘つて最高點當選の榮譽を勝ち得たことが唯一の目覚ましい業績であつたと言つても過言ではない。

資本主義の便衣隊であるフアツシヨの反動的流行思想の傀儡は依然たる國家非常時の暗雲にその醜惡なる正體をカムフラチしつゝ奇怪なる野望を以て斷片的に政局の表面を横行してゐるが、國民生活の實際より遊離せる彼等の政治行動には國民の關心を繋ぐ何物もあり得ない。左翼共產主義的政治運動も、本年七月國際共產黨世界大會に於て日本テーゼを發表したが既におそく、彼等が従來採り來つた無責任極る思想運動は全く國民の信頼を失墜して日本共產黨を先頭に一聯の所謂左翼分子と自稱する徒輩の政治運動は悉く破産、没落し去つた。既成政黨は非常時局の弔ひの鐘に送られて國民の怨府よりその醜骸を罪送してしまつた。茲に當然起るべくして、起り得ないのが労働組合を中心とする新興無産政黨の新政治勢力である。そうして今日の日本の政局は國際非常時を支柱として軍部と新官僚と稱する二群が既成政黨の醜骸の上で辛らくも持ちこたへてゐる醜態である。

労働組合は斷じて無産政黨と遊離したのではない。九州聯合會は内部充實に主力を置き、政治行動の實力を涵養し、以て農民組合、産業組合との完全なる協働運動を組織し、明日の政局を支配する準備と用意のため社會大衆黨福岡縣支部聯

合會と協力一體となつて無産階級政治運動の正道開拓に努めて來た。今秋の縣議戦に於て門司、小倉、嘉穂の各區より退陣したのも亦かゝる大方針に則して餘力を蓄えるためであつた。豊前沿岸十八浦漁場擁護のため大阪曹達河田工場設立反對闘争に會長伊藤卯四郎氏を煩し記録的な大勝利解決まで背面より側面より常にこの闘争を支持應援したことも亦齊しくこの目的の緒を開くためであつた。

その他日常闘争の戦野に於ても加盟組合は夫々の地區に於て組織の實力を通じて善戦健闘し九州聯合會は社會大衆黨福岡縣支部聯合會の主力部隊として良くその任務と職責を果して來たのである。

七、會計部

九州聯合會の會計報告は大會に上提し、豫算決算に關する大會委員會の精細、嚴密なる審査を経て大會へ報告し以て組合員諸君に御承認を求めるのが例年の恒例となつてゐるので特にこの報告書より省畧することとする。

以上

特殊報告

一、勞資懇談會

九州聯合會第五回年次大會の決議を以て提唱し當時の協調會常務理事吉田茂氏並に福岡縣知事小栗一雄氏の斡旋に依つ